

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

供給者の会社名称： 八州電気工業株式会社
住所： 岡山市北区東古松5-6-24
電話番号： 086-225-5511

会社名 株式会社マーベル
所在地 大阪市中央区上町 1-26-7
電話番号 06-6762-0371
FAX 番号 06-6762-2373
緊急連絡先 所在地に同じ
改訂日 2024/04/01

製品名：ケーブルスライダー（ドライタイプ） C-2022

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3（麻酔作用）

※記載がないものは区分に該当しない、または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性の高いエアゾール

H229: 高压容器：熱すると破裂のおそれ

H336: 眠気またはめまいのおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
成分及び含有量(wt%)	シリコンオイル(10-30%)、噴射剤(LPG)(70-90%)
化学式または構造式	企業秘密のため非公表
CAS. No.	企業秘密のため非公表

4. 応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
眼に入った場合：	水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外す。十分洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚にかかった場合：	水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。 腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	速やかに容器を安全な場所に移す。 消火に棒状の水を使用してはならない。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。
消火剤：	霧状強化剤、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置	保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
7. 取扱い及び保管上の注意 取り扱い： 保管：	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 製品の使用中、飲食および喫煙しない。 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。 必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 屋外または通気性が良い場所で使用する。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。 使用後は手洗いを十分する。 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ふたを必ず密閉する ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。
8. ばく露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度 設備対策 呼吸用保護具 眼の保護 手の保護 皮膚、身体の保護	データなし データなし 排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。 必要に応じて防毒マスクを着用する。 必要に応じて保護眼鏡を着用する。 長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性の手袋を着用する。 長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質 外観等 比重 沸点・初留点 溶解性 引火点 発火点 爆発限界	無色透明液体 0.97 データなし 水に不溶 250℃以上(COC) データなし データなし
10. 安定性及び反応性 反応性・化学的安定性 避けるべき条件 混触危険物質	通常の状態では安定。 熱、火花、その他の発火源。 強酸化剤との接触を避ける。
11. 有害性情報 急性毒性 刺激性 感作性 発がん性 変異原性 生殖毒性 特定標的臓器毒性 誤えん有害性	シリコーンオイル 経口 LD₅₀>15400mg/kg（ラット） 皮膚に触れると炎症を起こすことがある。 有用なデータなし。 有用なデータなし。 有用なデータなし。 有用なデータなし。 混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。 有用なデータなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性、短期（急性）	有用なデータなし。
水生環境有害性、長期（慢性）	有用なデータなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	1950
品名	エアゾール
国連分類	クラス 2.1

輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。
さらに関連法令に従った措置も講じる。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物（可燃性液体類）
労働安全衛生法	通知対象物：ボタン（噴射剤） 表示対象物：ボタン（噴射剤）
PRTR 法	非該当
廃棄物の処理および 清掃に関する法律	産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

16. その他

参考文献	1.化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 9 版（2021） 2.日本規格協会 JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019 3.独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報] 4.各原料の SDS
注意事項	この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の手取り扱いを 想定して作成したものです。 SDS は安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じて使用してください。 SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。